情報種別:G外秘 会社名:NTTデータマネジメントサービス

5.振替申請

# 5-0 目次

5-1-1 振替申請 概要	振替伝票の申請概要	2ページ
5-2-1 業務フロー:振替申請	標準プロセス	3ページ
5-2-2 事務処理事項:振替申請	事務処理事項	4-6ページ
5-2-3 振替申請	画面イメージ	7-12ページ
5-3-1 業務フロー:振替申請(逆仕訳)	標準プロセス	13ページ
5-3-2 事務処理事項:振替申請(逆仕訳)	事務処理事項	14ページ
5-3-3 振替申請(逆仕訳)	画面イメージ	15-22ページ
5-4-1 業務フロー:振替申請(手動洗替)	標準プロセス	23ページ
5-4-2 事務処理事項:振替申請(手動洗替)	事務処理事項	24ページ
5-4-3 振替申請(手動洗替)	画面イメージ	25-31ページ

### 5-1-1 振替申請 概要

#### 1.振替申請

支払申請・請求書発行依頼兼収入伝票申請以外で仕訳を計上する場合に起票する 既に計上されている仕訳の修正や売上、費用の概算計上、棚卸による科目の振替などで使用する

#### 2.伝票例

(1) 科目更生

科目・プロジェクトコード・税区分・組織・取引先・計上等の計上誤りの修正を行うこと

(2) 概算計上

売上または費用が実際に発生した月と請求・支払月が異なる場合、発生した月に「収益」「費用」を認識するために概算で計上を行うこと

(3) 概算計上戻し

収益・費用が確定した際に概算で計上していた申請書を取消すこと(概算計上時に自動洗替を選択している場合は伝票作成不要)

(4) 逆仕訳

申請書取消のため逆仕訳を行うこと(逆仕訳を選択することにより伝票が自動作成される)

- (5) 資金移動 ※資金移動処理は自社で実施
- (6) 現金取引

小口現金·現金

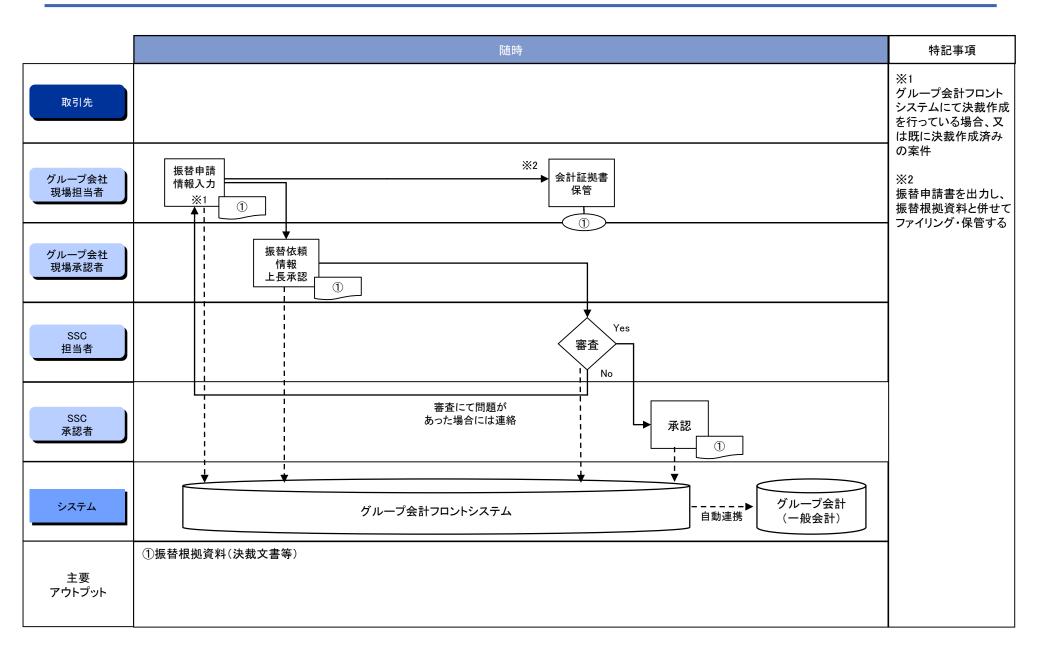
(7) 棚卸

計上時期:月末/期末

### 3.振替申請の注意点

- ・経理承認済みの申請書の取消は、該当申請書の逆仕訳申請を行う
- ・取引先・プロジェクトコード・計上組織など貸借両方への入力が必要
- ・NTTデータグループとの取引に関しては取引先コードの入力、請求書番号の入力が必須
- ・グループ会計フロント「請求書発行依頼兼収入伝票」で債権計上した債権を取り崩す場合、債権消込元申請番号の入力と元伝票の添付が必須
- ・業務に関係のない個人情報、または厳秘資料、個人番号及び特定個人情報は、件名・明細摘要・申請コメント欄など申請書に記載(保管)しない

# 5-2-1 業務フロー:振替申請



### 5-2-2 事務処理事項:振替申請

#### 1.処理対象

科目更生 · 概算計上 · 資金移動 · 現金取引 · 棚卸等

#### 2.処理概要

グループ会計フロントシステムでの処理

- (1) 担当者は振替申請の入力を行う
- (2) 根拠資料を添付し申請する
- (3) 現場承認者は申請内容を確認し承認を行う

#### 3.提出方法

原本の提出は不要。(原本は個社保管) ⇒ 現場承認者がグループ会計フロントシステムで承認を行うことで申請が完了する

#### 4.注意点

- (1) 経過勘定について
  - ・設定:振替申請での設定は可能(勘定科目へ付加できる設定はヘルプデスクへ依頼)
  - ・解約:解約の依頼を自社の経理へ依頼(経過期間の変更は一度解約後に再度設定が必要)
  - ・変更:プロジェクトコードや勘定科目、計上組織の変更は自社経理へ依頼
- (2) 工事進行基準の科目は振替伝票での投入は不可
- (3) 仕掛品・建設仮勘定・ソフトウェア仮勘定・研究開発費などの勘定科目は投入不可
  - ※プロジェクトコードの変更時は計上した勘定科目を使用すること
- (4) 概算計上時に【処理区分】: 概算、【洗替予定月】: 自動洗替を選択すると、自動で経理承認済み状態の洗替伝票が作成される 洗替予定月のバッチ日(原則7営業日、ただし定期請求バッチ日と重複する場合は8営業日)に洗替伝票が確認可
  - ※期間の再設定はできませんので、自動洗替の予定月を遅らせる場合は再度概算計上を行う(これにより二重計上とはなりません)
  - 自動洗替の予定月を早めたい場合は手動洗替を行う(これにより自動洗替のバッチは走りません)
- (5) 債権消込元申請番号・明細行番号は振替申請書の帳票には表示されません。「明細照会」または「CSV出力」から確認することができます。
- (6) インボイス関連項目の入力について
  - ・免税事業者取引用の税区分(5\*\*)を使用する場合、免税事業者との取引税率は明細摘要に入力すること(振替申請には当該項目がないため)
  - ・振替申請で費用本計上「●●費/預金 等」を実施する際、取引先がインボイス発行事業者の場合は、費用の明細摘要に事業者番号(Tから始まる番号)を入力すること (振替申請では事業者番号の自動表示がされないため)
  - ・概算計上を実施する際、免税事業者取引用の税区分(5\*\*)を使用する場合は、その旨コメント欄等へ補足をお願いいたします

## 5.振替申請書の仕訳について

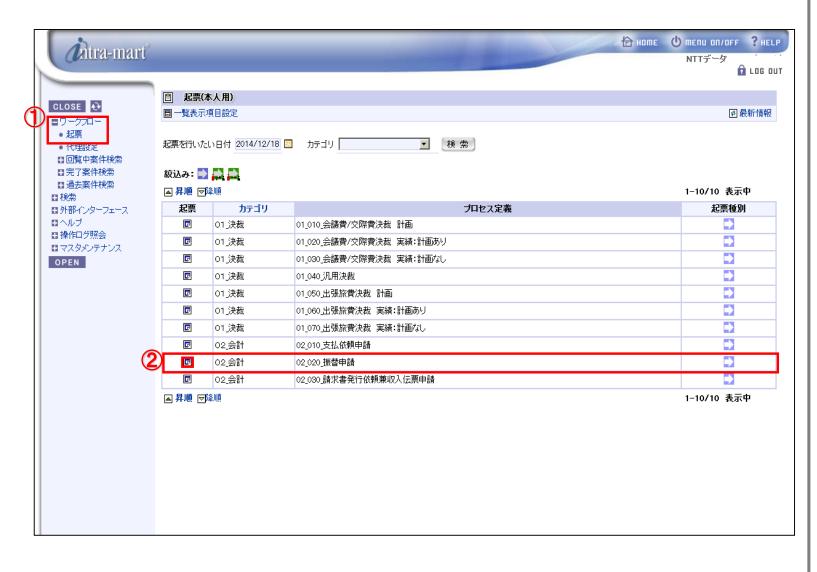
振替申請書は貸借の仕訳を入力する必要があります。

申請内容		借方 (申請書左側)	貸方 (申請書右側)	留意点	
貸借の考え方		資産の増加 負債の減少	資産の減少 負債の増加	資産:売掛金·固定資産等 負債:買掛金·未払金等	
		収益の減少 費用の増加	収益の増加 費用の減少	収益:売上等 費用:作業委託費·物品費等	
科目更正	売上	修正前情報 (売上の減少)	修正後情報 (売上の増加)	※取引先コードは貸借両側に入力する ※経過勘定の更正は不可。(設定のみ可)	
	費用	修正後情報 (費用の増加)	修正前情報 (費用の減少)	※労務費勘定の更正はできません。 (就業理システムより過月修正を実施する)	
概算計上	売上	売掛金	売上	※売掛金は税区分は「000 課税対象外」	
	費用	費用	買掛金/未払金	※買掛金または未払金の税区分は「000 課税対象外」	
資金移動		資金の移動先	資金の移動元	※計上日は資金が移動した日付	
現金	受入	現金	預金や返金元勘定科目	※計上日は現金の入金日	
	払出	費用科目	現金	※計上日は現金の出金日	

# 5-2-2 事務処理事項:振替申請

### 6.SSC財務標準添付資料

No.	主な申請内容	処理内容	添付資料	備考	
1	科目更正	勘定科目、プロジェクトコード、税区分、取引 先、計上組織など既に計上済みの仕訳の修 正や変更を行うこと	·決裁文書(※1) ·修正元伝票(※2) ·修正先情報	添付資料から次の項目が確認できることが必要となります。 ・計上日 ・金額 ・勘線 ・PJコムア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
2	概算計上	売上または費用が実際に発生した月と請求・ 支払月が異なる場合に 発生した月に「収益」「費用」を認識するため に概算で計上を行うこと	・決裁文書(※1) ・契約書、または注文書		
	※概算計上戻し (概算・自動洗替)	・収益・費用が確定した際に概算で計上してい た申請書を取消すこと			
3	概算計上戻し (概算・手動)	収益・費用が確定した際に概算で計上してい た申請書を取消すこと	・概算計上時の伝票 ・支払、請求の計上伝票(※3)		
4	逆仕訳	申請書取消のため逆仕訳を行うこと	・取消を行う理由が分かるもの		
5	費用配賦	各部門や各PJコードへ費用の配分を行うこと	·費用配賦表 ·配賦元伝票		
6	小口現金	日常的に発生する少額の支払いや経費精算のために管理している現金のこと	·決裁文書(※1) ·領収書 ·現金出納簿		
7	預金関連		・銀行明細、または通帳 ・請求書		
8	給与関連		•個社作成明細		
9	棚卸関連	: 物品の有高を調査、確認すること	•受払管理簿		



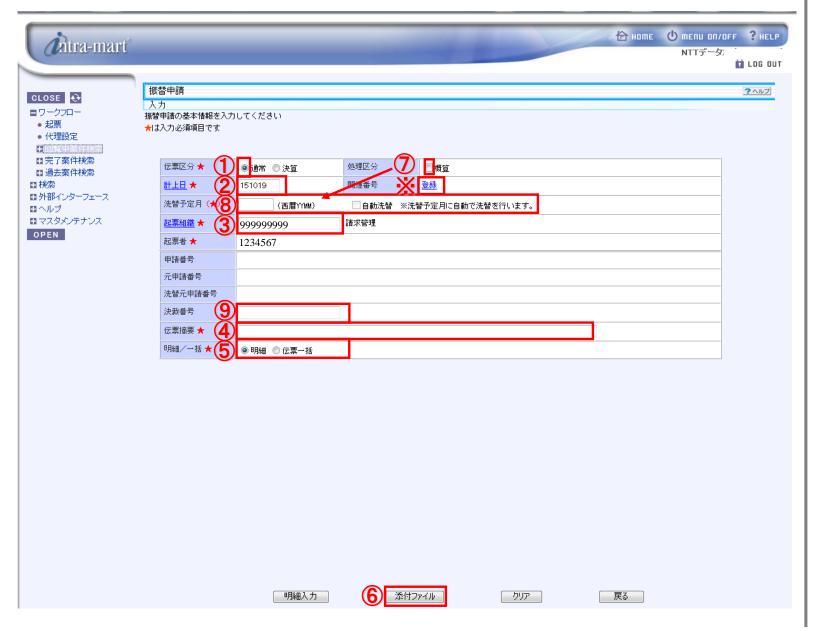
#### 【振替申請を行う】

- 【ワークフロー】→【起票】
   をクリック
- ②【振替申請】をクリック



#### 【起票方法を選択】

- 1 新規で伝票を起票する場合はチェック
- ② 過去の伝票を複製する場合はチェック※検索し【複写】が可能です
- ③ 選択後に【実行】をクリック

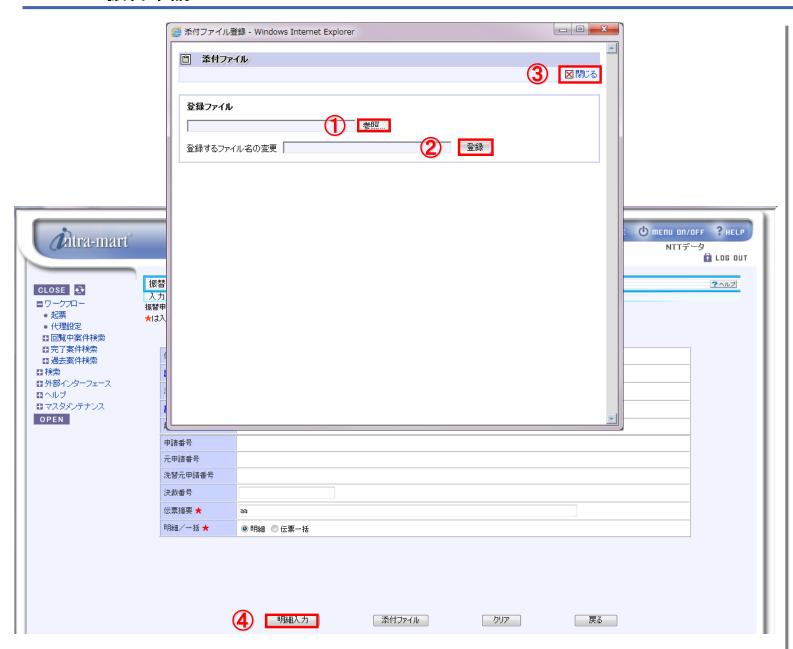


#### 【基本情報の入力】

- ① 振替申請を起票する場合は 【通常】をクリック
- ② 計上日を入力
- ③ 起票組織を入力 (初期表示と異なる場合)
- ④ 伝票摘要を入力
- ⑤ 消費税を明細毎に計上する 場合には【明細】を、伝票単 位で計上する場合には【伝票 一括】を選択
- ⑥ 【添付ファイル】をクリック

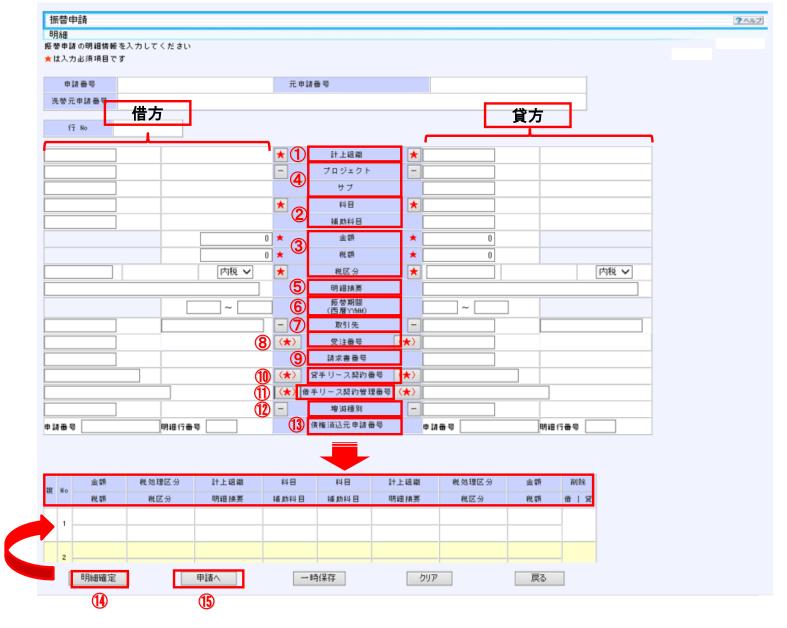
------以下任意設定------

- ⑦ 概算計上の場合にはチェック ※選択しておくと概算計上の 未洗替案件の管理が実施で きます
- ⑧ 【処理区分】で概算を選択した時は、自動洗替にチェックが入る。洗替予定年月を入力し、原則として自動洗替による概算計上を行う。
- ⑨ フロントシステムを利用した決 裁がある場合には入力
- ※ 関連番号に資料を添付することが出来ます(SSC財務の審 査対象とはなりません)



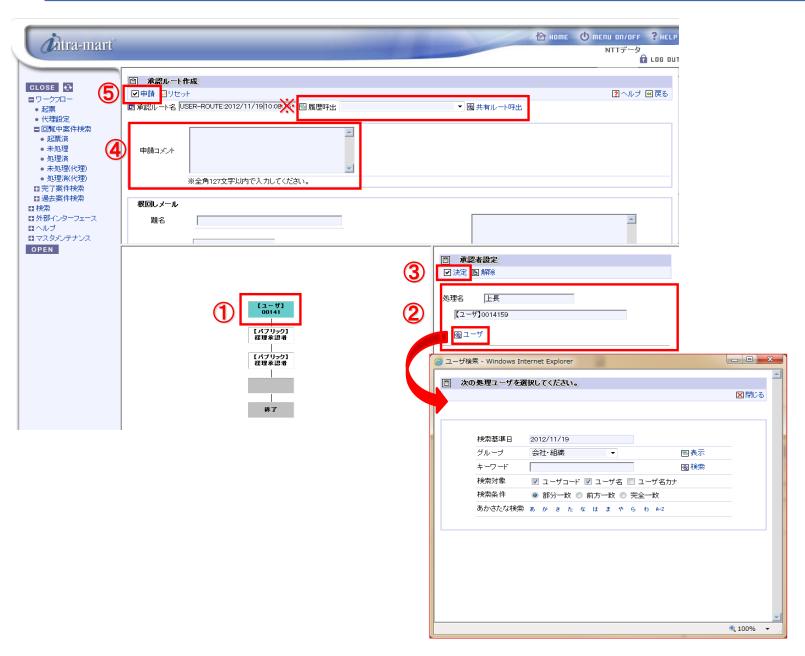
#### 【資料の添付】

- ①【参照.】をクリックし添付する資料を選択
- ② ファイル名を変更する際には空欄に入力し、変更しない際は入力せず【登録】をクリック
  - ※複数のファイルを添付する場合には上記の方法を繰り返します ※添付可能ファイル数が5ファイルまでのため、6ファイル以上ある場合は圧縮し添付して下さい
- ③ 全て添付が完了したら【× 閉じる】をクリックします
- ④ 【添付ファイル登録】の吹き出しが閉じたら【明細入力】をクリック



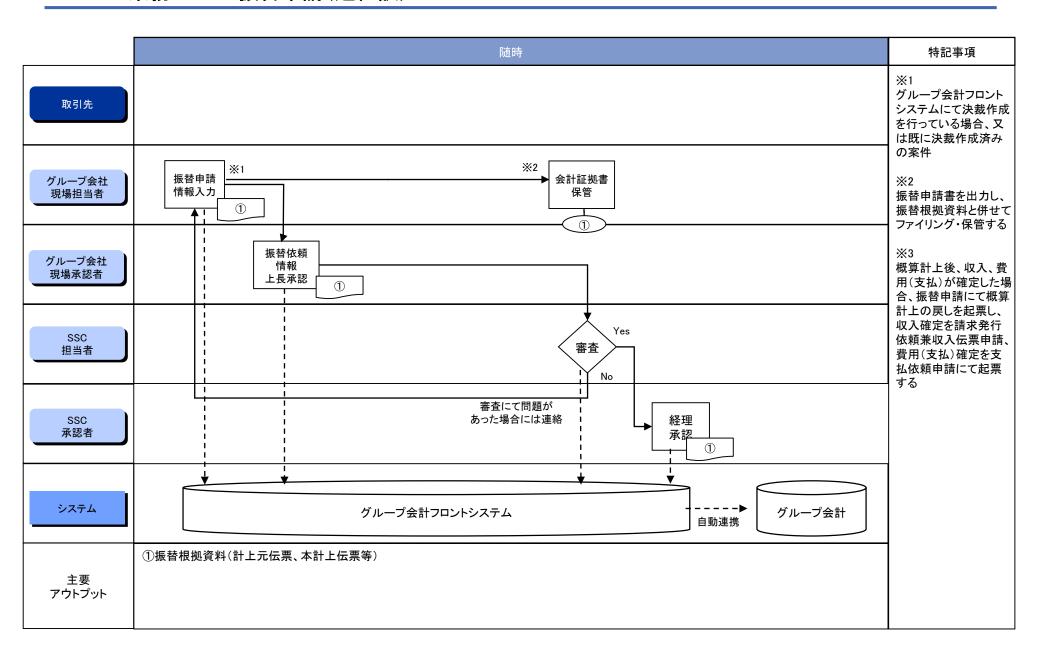
#### 【明細情報の入力】

- ① 計上組織を入力
- 勘定科目・補助科目を入力
- ③ 【金額】を入力し【税区分】を選択す ると自動で【税額】が表示されます ------以下任意設定------
- 4 プロジェクトコードを入力
- ⑤ 明細摘要を入力
- ⑥ 振替期間を入力(当月全額費用/収 益計上の場合は未入力)
- ⑦ 取引先を入力
- 8 受注番号を入力
- 9 請求書番号を入力
- 10 貸手リース契約番号を入力
- ① 借手リース契約管理番号を入力 ※「\*\*\*-325\*不動産賃借料」の科目 を使用し、当該項目が空白の場合 申請時にワーニングメッセージが 表示されます。
- 12 増減種別を入力
- (13) 債権消込元申請番号、明細行番号 を入力
  - ※グループ会計フロント「請求書発 行依頼兼収入伝票」で債権計上し た債権を取り崩す場合、必ず入力 してください
- 4 【明細確定】をクリックすると次の行 の入力ができます
- ■15 明細の入力が完了したら【申請へ】 をクリックし、【OK】をクリック



#### 【承認ルートの設定】

- 1 上長枠をクリックします
- ② 承認者設定で【ユーザ】ア ンカーをクリックしユーザ 検索で承認者を選択
- ③ 【決定】をクリックすると、 選択した承認者が①に表 示されます
- ④ 申請時にコメントを付す場合はここに入力
- ⑤ 【申請】をクリック
- ※ 前回以前に使用したルート・登録している共有ルートを呼出すことが出来ます



## 5-3-2 事務処理事項:振替申請(逆仕訳)

#### 1.処理対象

振替申請をする際に【処理区分】: 概算を選択している場合は、5-4-1振替申請(手動洗替)を参照

(1) 逆仕訳伝票 : 誤って投入した仕訳の逆仕訳をおこなう

(2) 棚卸の戻し:前月や前期末の棚卸したものを逆仕訳で戻す

(3) 概算計上の戻し:過去に概算計上をしていた案件について実際の支払や請求が完了した時点で計上を戻す

#### 2.処理概要

グループ会計フロントシステムでの処理

- (1) 担当者は振替申請の入力を行う
- (2) 根拠資料を添付し申請する
- (3) 現場承認者は、申請内容を確認し承認を行う

#### 3.添付ファイル

(1) 逆仕訳伝票:元伝票に誤りがある事を確認できる資料や決裁

(2) 棚卸の戻し : 資料は不要

(3) 概算計上の戻し: 本計上伝票を添付

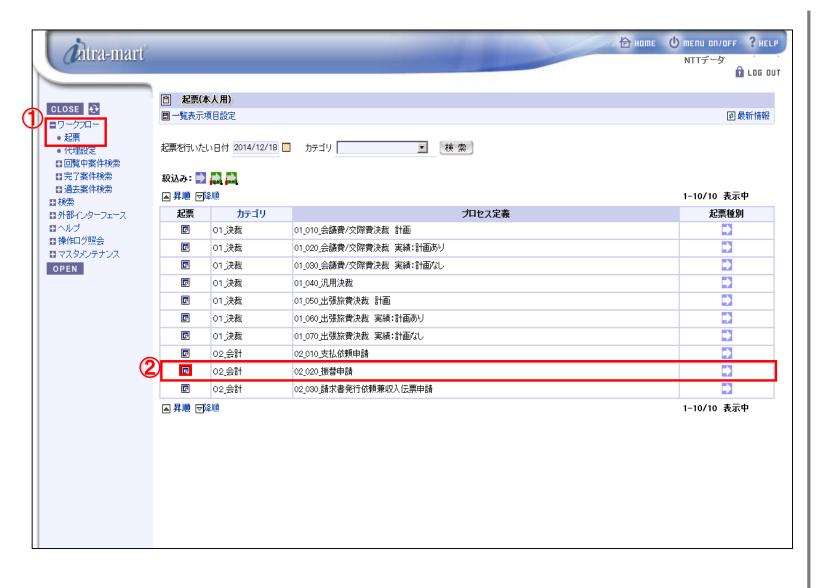
#### 4.提出方法

原本の提出は不要

現場承認者がグループ会計フロントシステムで承認を行うことで申請が完了

#### 5.全般注意点

逆仕訳が行える条件として、逆仕訳及び洗替が行われていない場合に振替申請の逆仕訳伝票が作成できる



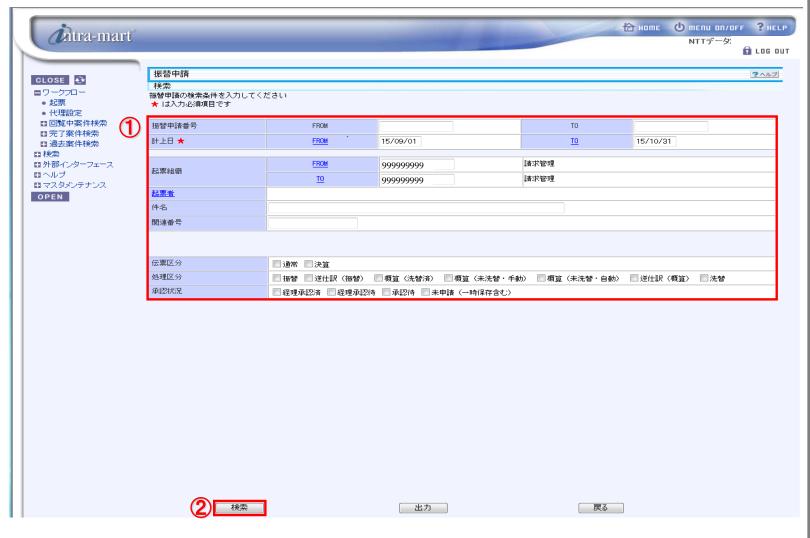
#### 【振替申請を行う】

- 【ワークフロー】→【起票】
   をクリック
- ② 【振替申請】をクリック



#### 【起票方法を選択】

- ① 既登録分検索をチェック
- ② 選択後に【実行】をクリック



#### 【検索条件を入力】

- ① 逆仕訳をしたい申請の情報を入力
- ②【検索】をクリックします



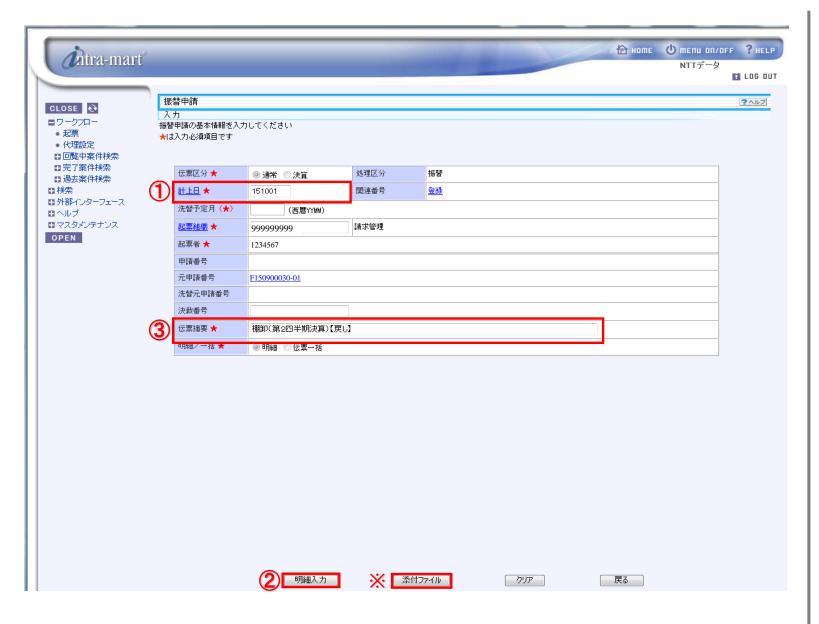
【元となる申請を選択します】

① 逆仕訳をおこないたい【申 請番号】をクリックします



【元となる申請を選択します】

① 逆仕訳をクリックします



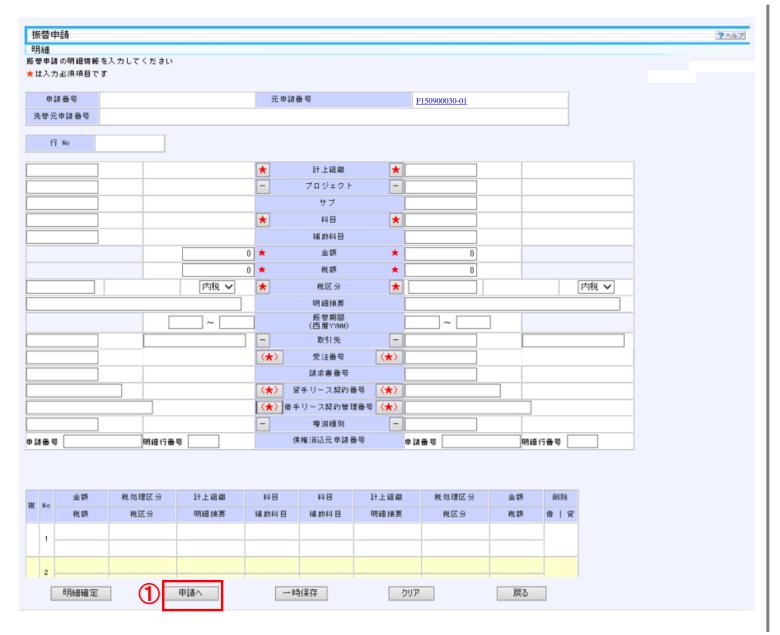
#### 【計上日の設定】

- ① 逆仕訳を行う計上日を入力
- ② 【明細入力】をクリック

※資料添付を行う場合は ②の前に【添付ファイル】 をクリックし登録します

-----以下任意設定------

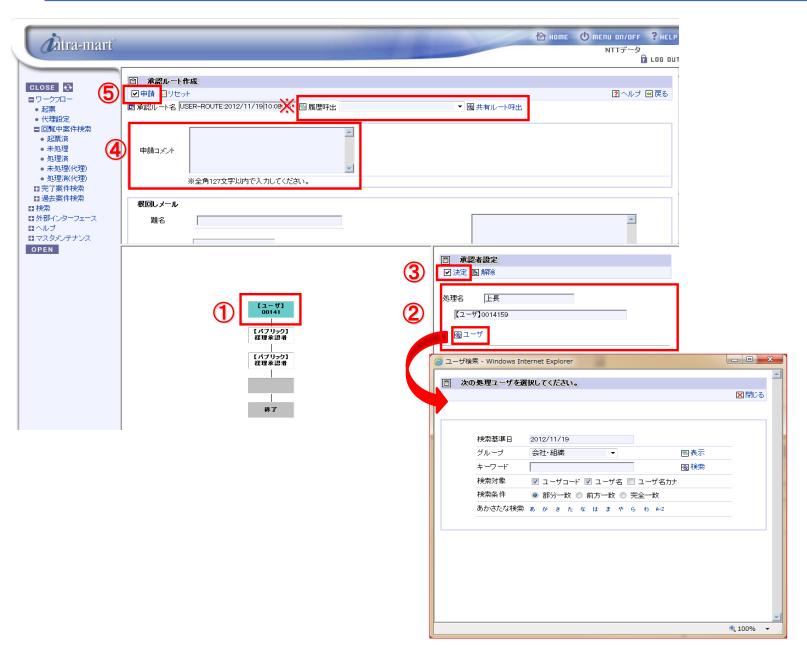
③ 伝票適用を修正



#### 【申請】

① 内容を確認し【申請へ】を クリック

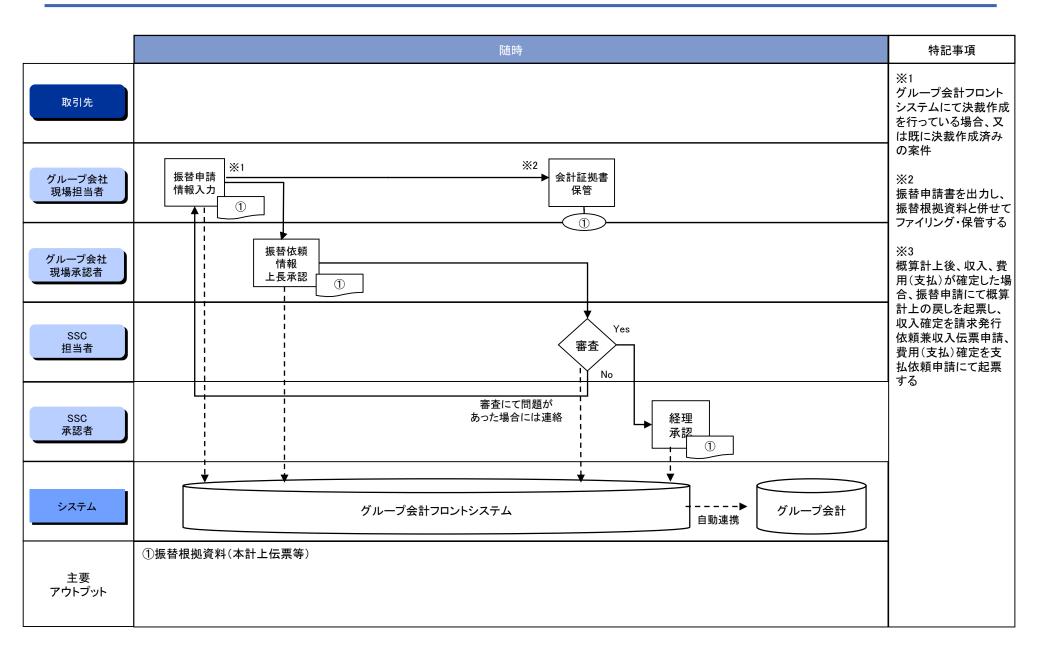
※内容の変更はできません



#### 【承認ルートの設定】

- ① 上長枠をクリックします
- ② 承認者設定で【ユーザ】ア ンカーをクリックしユーザ 検索で承認者を選択
- ③ 【決定】をクリックすると、 選択した承認者が①に表 示されます
- ④ 申請時にコメントを付す場合はここに入力
- ⑤ 【申請】をクリック
- ※ 前回以前に使用したルート・登録している共有ルートを呼出すことが出来ます

## 5-4-1 業務フロー:振替申請(手動洗替)



## 5-4-2 事務処理事項:振替申請(手動洗替)

#### 1.処理対象

振替申請をする際に【処理区分】: 概算、【洗替予定月】: 自動洗替 を選択しているが洗替予定月を早めたい場合等に、洗替起票が可能 概算計上の戻し: 過去に概算計上していた案件で実際の支払や請求が完了した時点で計上を戻す

### 2.処理概要

グループ会計フロントシステムでの処理

- (1) 担当者は振替申請の入力を行う
- (2) 根拠資料を添付し申請する
- (3) 現場承認者は、申請内容を確認し承認を行う

#### 3.添付ファイル

本計上伝票を添付

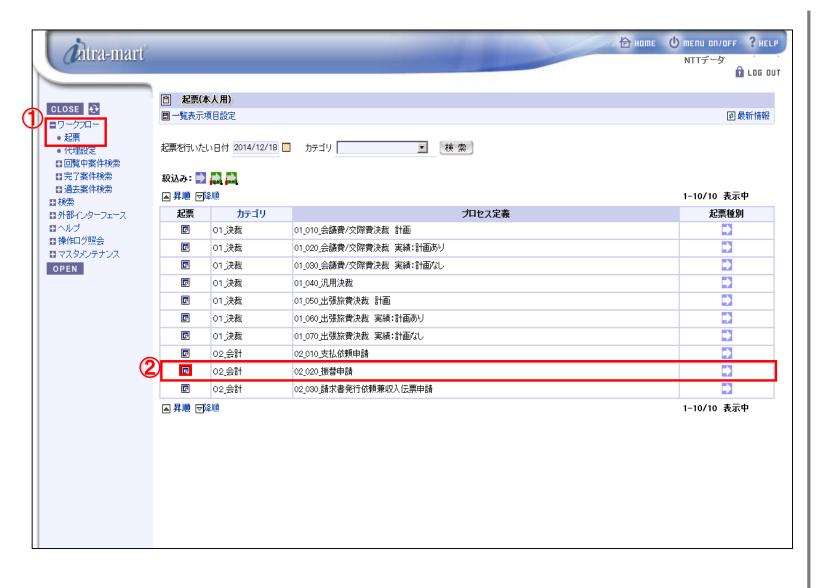
### 4.提出方法

原本の提出は不要

現場承認者がグループ会計フロントシステムで承認を行うことで申請が完了

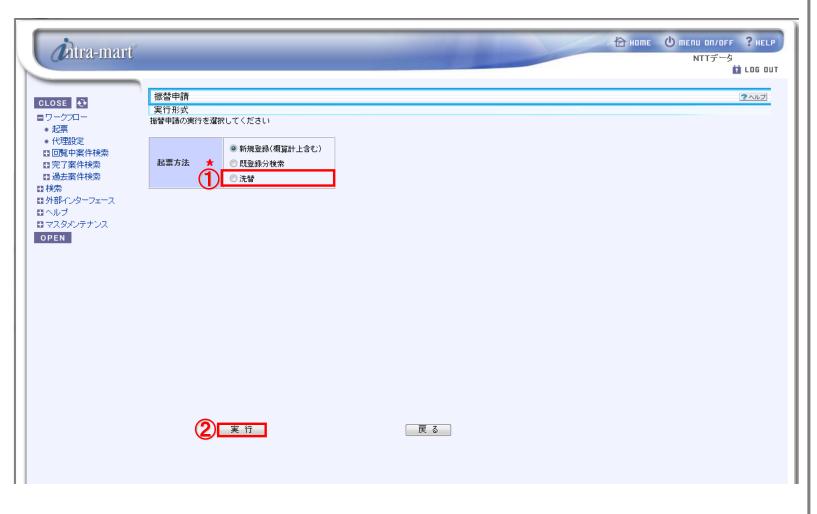
#### 5.全般注意点

手動洗替が行える条件は、【処理区分】:概算を選択し、まだ逆仕訳及び洗替が行われていない場合に振替申請の洗替伝票が作成できる



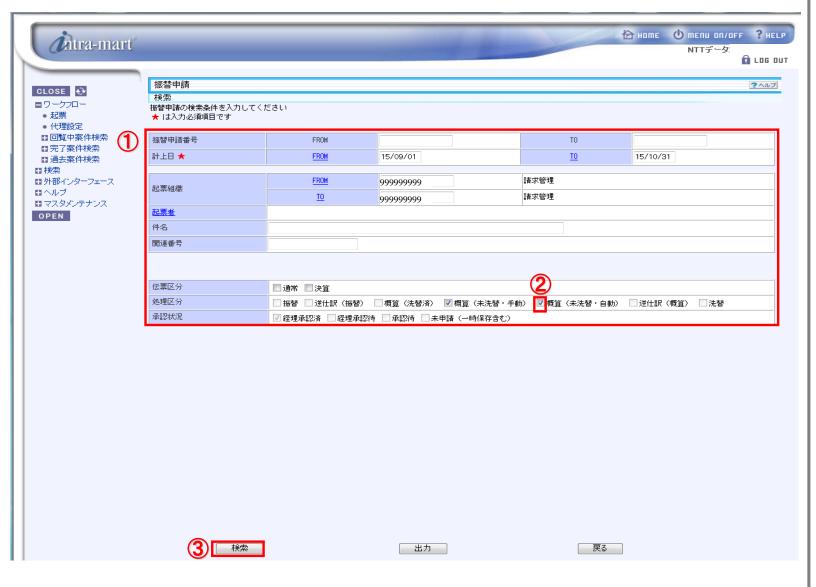
#### 【振替申請を行う】

- 【ワークフロー】→【起票】
   をクリック
- ② 【振替申請】をクリック



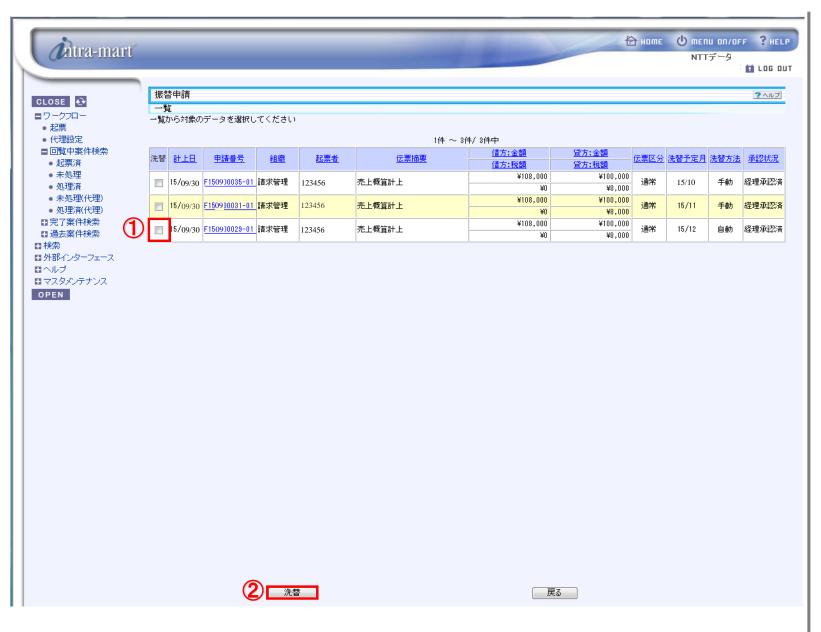
#### 【起票方法を選択】

- ① 洗替をチェック
- ② 選択後に【実行】をクリック



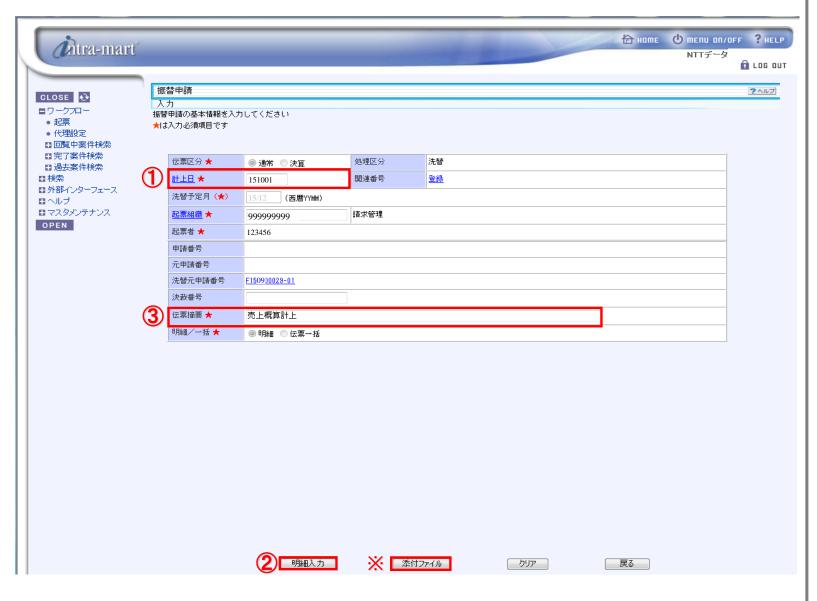
#### 【検索条件を入力】

- ① 洗替をしたい申請の情報 を入力
- ② 自動洗替の洗替予定月 を早めたい場合の検索時 はチェック
- ③ 【検索】をクリックします



#### 【洗替をします】

- ① 元となる申請の左横にあるチェックボックスにチェックをいれます
- ② 【洗替】をクリック



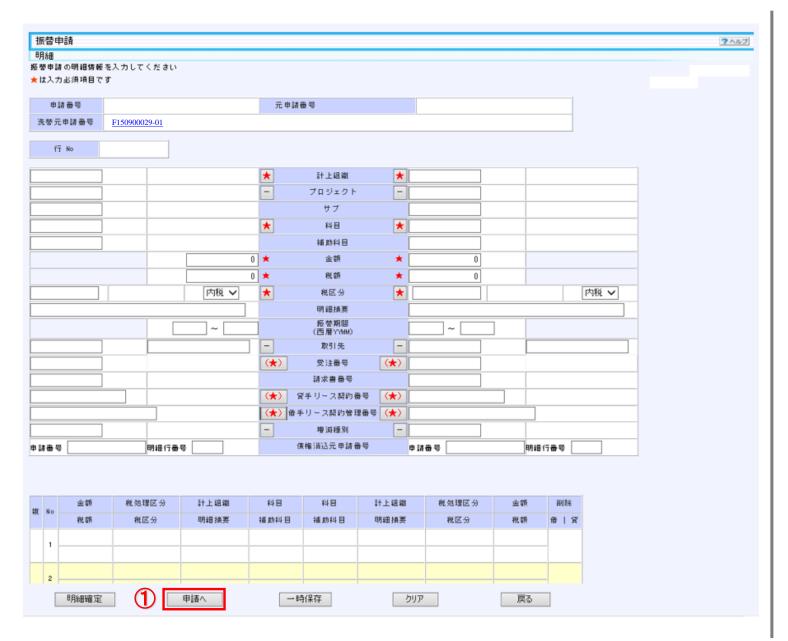
#### 【計上日の設定】

- ① 洗替を行う計上日を入力
- ②【明細入力】をクリック

※資料添付を行う場合は ②の前に【添付ファイル】 をクリックし登録します

------以下任意設定------

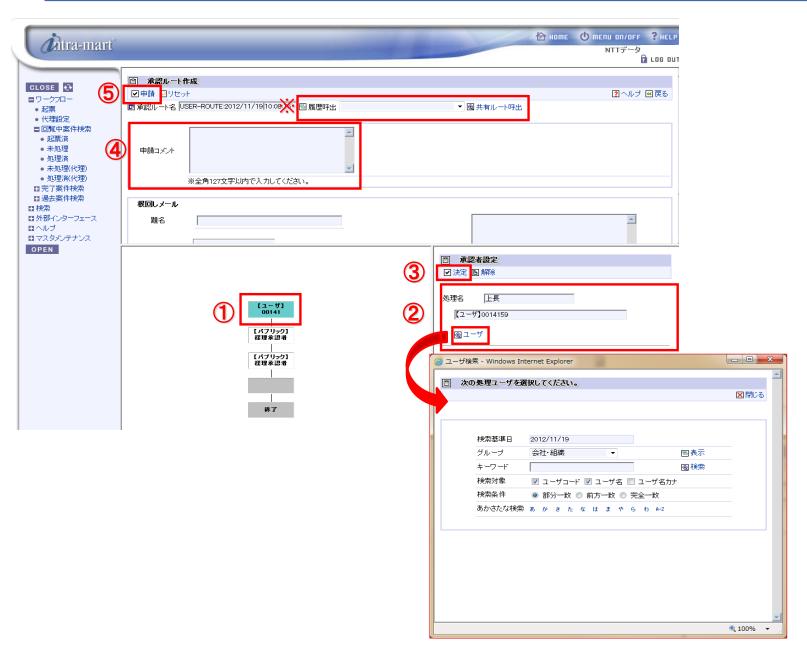
③ 伝票適用を修正



#### 【申請】

① 内容を確認し【申請へ】を クリック

※内容の変更はできません



#### 【承認ルートの設定】

- 1 上長枠をクリックします
- ② 承認者設定で【ユーザ】ア ンカーをクリックしユーザ 検索で承認者を選択
- ③ 【決定】をクリックすると、 選択した承認者が①に表 示されます
- ④ 申請時にコメントを付す場合はここに入力
- ⑤ 【申請】をクリック
- ※ 前回以前に使用したルート・登録している共有ルートを呼出すことが出来ます